

建産協電子カタログ活用セミナー

建材と住宅設備のデジタルカタログ集

「カタラボ」の活用について

社団法人 日本建材・住宅設備産業協会

KEIRIN



このセミナーは競輪の補助金を受けて開催します。

カタラボ 建材と住宅設備のデジタルカタログ集

建材と住宅設備を扱う企業各社のカタログを
電子ブック形式で一堂に集めたポータルサイト



設計者・デザイナー・建設関係者からお客様まで

1

社団法人 日本建材・住宅設備産業協会

傘下の会員として、セメント、ガラス等の素材分野から、基礎、壁、屋根、窓などの建材、浴室、キッチンなどの住宅設備に至るまで、広く業界をカバーする団体。建材・住宅設備産業の基盤整備及び振興を図り、我が国の産業の発展と国民生活の向上に貢献することを事業目的とする。

IT化推進委員会

ITを活用して建材・住宅設備業界の生産・流通の効率化を推進。利用者の視点で製品情報へのアクセス利便性を目指した仕組み構築を検討。

＜カタラボ検討部会委員企業(10社)＞

株式会社INAX、大建工業株式会社
TOTO株式会社、トステム株式会社
ニチハ株式会社、日本板硝子株式会社
日本インシュレーション株式会社
パナソニック電工株式会社
美和ロック株式会社、YKKAP株式会社

‘09年10月 業界標準カタログサイト開設

カタラボ 建材と住宅設備のデジタルカタログ集

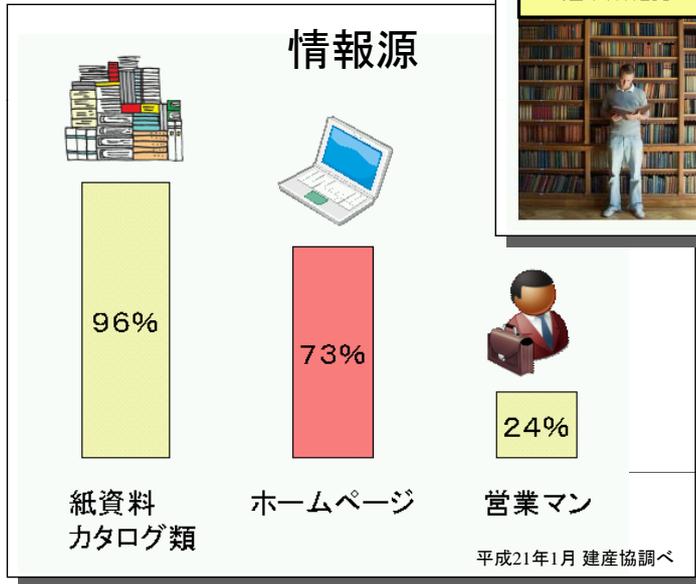
www.catalabo.org

～ 人々の暮らしと社会を
建築で創造する設計者のために ～

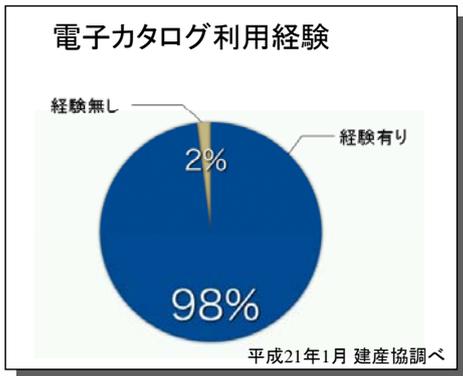
二年間の検討を経て 昨年10月にサイトを開設

2

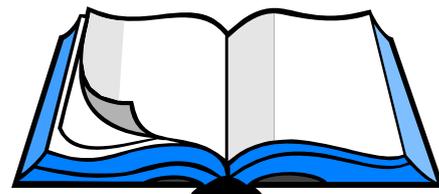
設計者が材料を選定する流れ



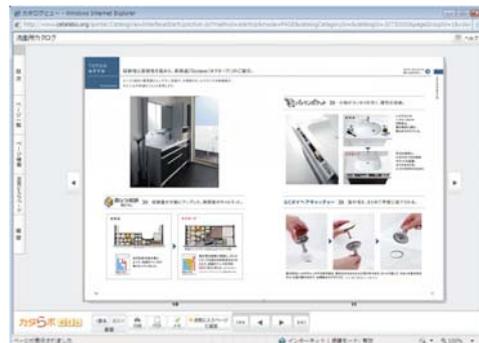
設計時の主要情報入手はWEB 一層WEBに期待



紙カタログ

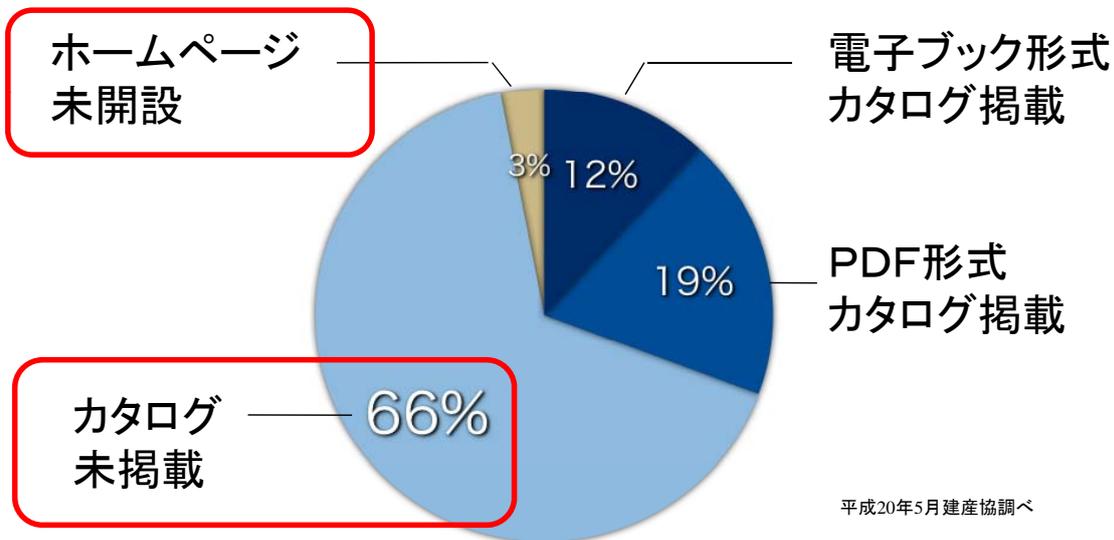


電子カタログ

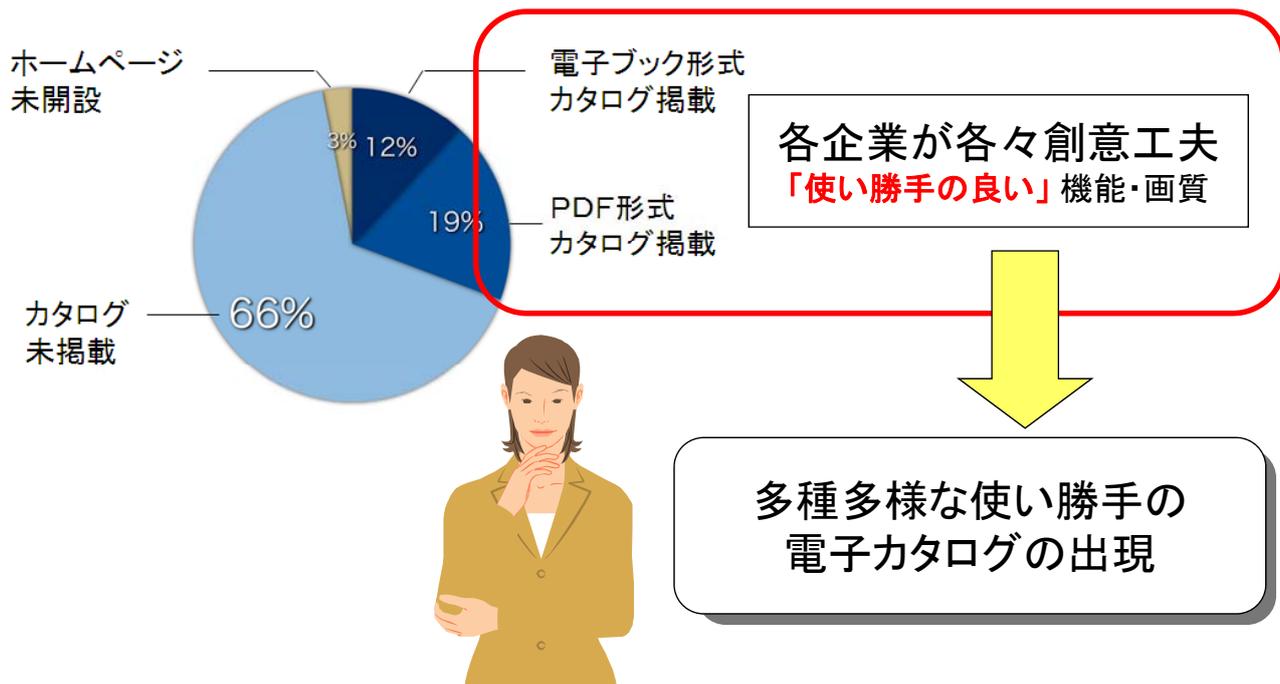


電子カタログの利用は進んでいる

建築・住宅設備分野における 各社ホームページへの電子カタログ掲載状況



約7割の企業は電子カタログ未掲載



利用者にとって本当に「使い勝手が良い」?

建築の企画・設計時の情報収集における課題



1. 各企業のホームページを巡回

欲しい情報の入手に時間を要する

2. 各企業ごとに様々な分類整理

同種の製品の比較がしにくい

3. 各企業ごとに様々な電子カタログ化

機能・操作性が異なり不便

4. 取り寄せたカタログ類の保管管理

保管場所不足・最新版へ入替手間

時間と手間とスペースの節約と効率アップ

7

「カタラボ」の特長

たくさん探せてピッタリ選べる

1. 各社ごとに違う形式を同じ操作性・品質・機能に統一
2. 豊富な製品情報のなかから探せる網羅性
3. 欲しい情報をピッタリ選べる検索機能



- ・ 多くの参加企業
- ・ 時間を短縮する優れた検索機能
- ・ 標準規格化し統一された操作性

たくさん探せる網羅性 と ピッタリ選べる検索性

8



キーワードで探す

検索

全て 現在のカタログから

メーカーから探す

メーカー名から検索できます。

カテゴリから探す

ビル系建材・設備

- 建築工事
- 給排水衛生設備工事
- 空調和設備工事
- 電気設備工事① 電力設備
- 電気設備工事② 通信・情報設備
- 電気設備工事③ 中央監視制御設備
- 電気設備工事④ 防災設備
- 電気設備工事⑤ 電線資材

紙のカタログで出来ること以上に多くの便利機能を装備

探す時間と手間から解放される様々な検索機能

カテゴリ② ビル系建材・設備 (3)		幅広い分野に多くの企業が参加	
S 給排水衛生設備工事 S-01 配管・断熱 S-02 ポンプ S-03 衛生器具 S-04 水栓金具 S-05 ユニット製品 S-06 給水設備 S-07 給湯設備 S-08 排水・通気設備 S-09 ガス設備 S-10 消火設備 S-11 浄化槽設備 S-12 業務用厨房 S-13 医療ガス S-14 水処理 S-15 さく井 S-16 ごみ処理・中央	H 空調和設備工事	カテゴリ② ビル系建材・設備 (2)	カテゴリ① 住宅系建材・設備
E 電気設備工事 E-01 電灯コンセント設備 E-02 照明設備 E-03 動力設備 E-04 受変電設備 E-05 直流電源装置 E-06 交流無停電電源装置 E-07 発電設備 E-08 電熱装置 E-09 避雷設備 E-10 書類搬送設備 E-11 配線器具 E-12 端子板・機器収容ラック等 E-13 構内情報通信網設備 E-14 構内交換装置 E-15 情報表示装置 E-16 映像・音響設備 E-17 拡声装置 E-18 誘導支援装置 E-19 呼出し装置 E-20 テレビ・ラジオ共同受信装置 E-21 監視カメラ装置 E-22 駐車場管理装置 E-23 入退室管理装置 E-24 防犯装置(侵入警戒) E-25 警報装置	A 建築工事 A-01 仮設工事 A-02 杭・地業工事 A-03 鉄筋工事 A-04 コンクリート工事 A-05 鉄骨工事 A-06 鉄工工事 A-07 免震・制振・耐震補強・支 A-08 コンクリートブロック・ALC A-09 防水工事 A-10 石工事 A-11 タイル工事 A-12 屋根・とい工事 A-13 金属工事 A-14 建具工事 A-15 建具金物工事 A-16 カーテンウォール工事 A-17 ガラス工事 A-18 右官・塗装工事 A-19 内装工事 A-20 断熱工事 A-21 舗装工事 A-22 外構工事 A-23 植栽工事 A-24 サイン工事 A-25 ユニット・その他工事	B 基礎まわり F 構造 G 共通部材 G-01 断熱材 防音材 G-02 接着剤 G-03 塗料・塗材 G-04 シーリング材 G-05 防水材 G-06 透湿シート G-07 タイル G-08 下地材 G-09 石材 G-10 作業工具 X 外装 X-01 屋根 X-02 アルミニウム・テラス X-03 壁 X-04 造作材 X-05 階段・廊下 X-06 開口部 X-06-01 窓建具 X-06-02 ガラス X-06-03 天窓(トフライト) X-06-04 (欠) X-06-05 シャッター X-06-06 開口部まわり X-06-07 出入口戸	I 内装 I-01 床 I-02 壁・天井 I-03 造作材 I-04 階段 I-05 建具 I-06 家具・インテリア I-06-01 家具 I-06-02 カーテン・ブラインド I-06-03 カーペット・ラグ I-07 金物 I-08 収納 Q 設備 Q-01-01 給水・給湯設備 Q-01-02 配管部品・システム Q-01-02 給湯機器・システム Q-02 水廻り設備 Q-02-01 トイレ Q-02-02 洗面所 Q-02-03 浴室 Q-02-04 キッチン Q-02-05 備品(アケサリ類) Q-02-06 水栓金具 Q-03 電気設備 Q-03-01 発電・受電設備 Q-03-02 配線器具 Q-03-03 照明器具 Q-03-04 空調・換気設備 Q-03-05 セントラルリナー Q-04 その他設備 Q-04-01 昇降設備 Q-04-02 床暖房設備 Q-04-03 非常用設備
カテゴリ② ビル系建材・設備 (3)		カテゴリ① 住宅系建材・設備	
〇 外構 (エクステリア)			

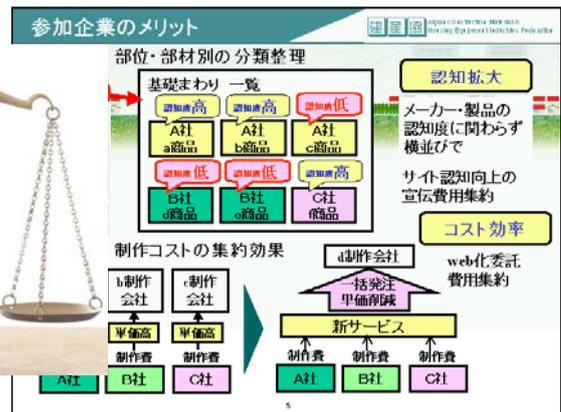
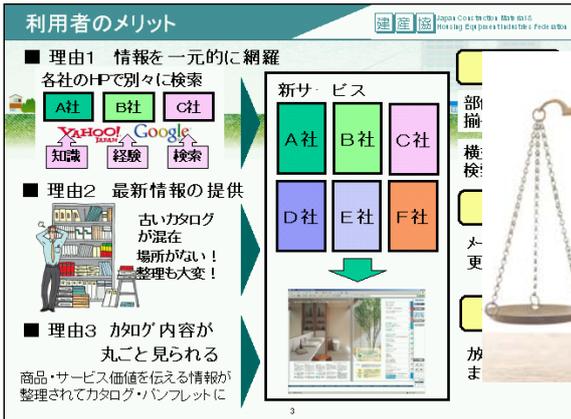
情報の網羅性 = 設計者の利用拡大と商品認知促進

しかし、
 これまでも同様の考えに基づいた企画は多く、
 しかも、決して成功しているとは言い難い・・・
 カタラボも同じでは？

カタラボはこれまでのものとは違います。
 カタラボにはこれまでのものがない「しかけ」が有ります。
 それは・・・

利用者のメリット

参加企業のメリット



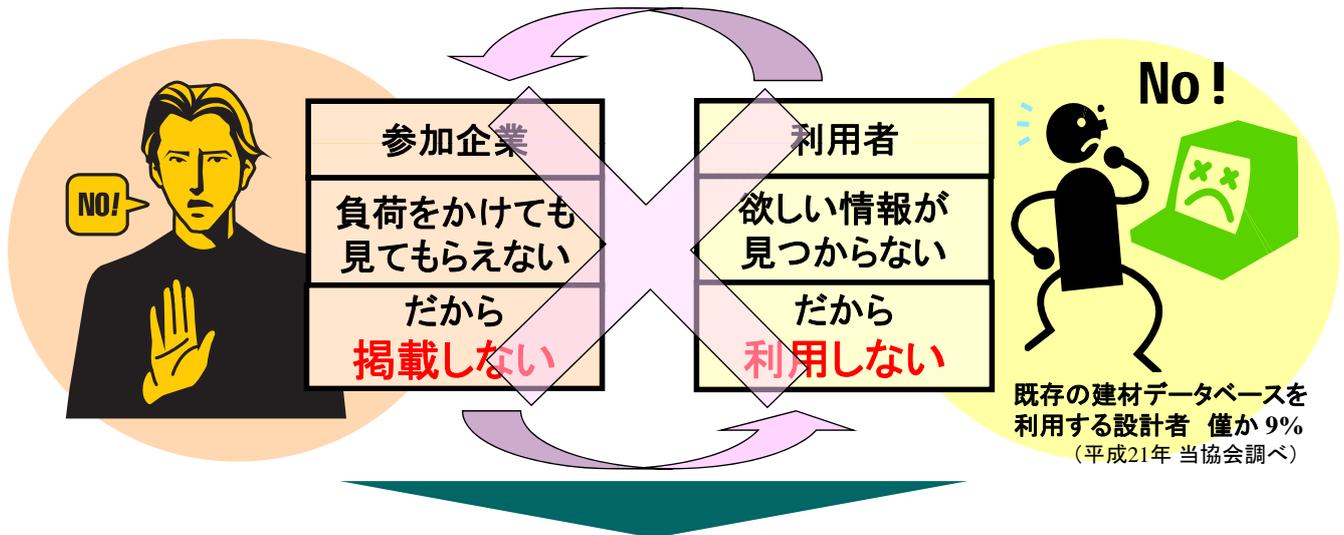
本当に使われるサイト
利用価値の追求



類似のしくみの課題解決
負担の軽減と掲載効果

委員(建材・住設機器企業の社員)が、参加する立場で
 これまでの仕組みの問題を分析、解決方法を考えた！

これまでのサイトは情報を利用する側の要求と提供する側のメリットがかみ合わず負の循環に陥っている



負の連鎖を正の連鎖に変えるきっかけがポイント
⇒ 業界として先ずは掲載数を増やすところから

情報掲載量を増やし利用者が見たくなるサイトにする
そのためにメーカーが情報掲載に消極的な理由を取り除く

解決すべき問題は2つ！

① 掲載・メンテに手間がかかる

- ・掲載のために新たな作業
- ・仕様変更の度に作業が発生



② 掲載にコストがかかる

- ・掲載するのに会費が必要
- ・費用対効果が不明確



① 掲載・メンテに手間がかかる



- ・掲載のために新たな作業
- ・仕様変更の度に作業が発生

(カタログだけでも大変なのに・・・)

カタログ内容をそのまま掲載すれば・・・



自社のカタログ修正を行えば、
その原稿がそのまま使える・・・
⇒ データ準備・メンテは1回でOK！



② 掲載にコストがかかる



- ・掲載するのに会費が必要
- ・費用対効果が不明確

(自社HPだけでも大変なのに・・・)

カタログ内容をそのまま掲載すれば・・・



そのまま自社HPにリンクして
自社のサイトでも利用・・・
⇒ 運用コスト(※)を下げCDも可能に
(※)カタログ電子ブック化費用・サーバー運用費

メーカーが情報掲載に消極的な理由

今までのデータベースがこだわった
独自の商品情報シートこそが問題の根源！

掲載情報は各社のカタログ
そのまま電子ブックにして一堂に集めたサイトで問題を解決！

- ・各社カタログのPDFデータを協会がまとめて電子ブック化
- ・数をまとめることで、サーバー運用も含め非常に安いページ単価を実現
⇒ 自社のホームページへリンクして掲載すれば**大幅なコストダウン**にも！

掲載企業が増える「しかけ」

「カタラボ」データベース

デジタルカタログ
制作コスト

+

データセンタ
運用コスト

必要不可欠な2つのサービスを合体



協会サイト
カタラボ



各社の
ホームページ

カタラボのデータを両方で活用可能
しかもコストは世間相場の最安レベル

カタラボは参加企業にも大きなメリットが！



電子ブック式のカタログ運営費用としては破格の安さ

1. 入会金	建産協会員企業	非会員企業	① 新規入会時に徴収するものとし、退会もしくは一時休会した企業の再入会時には徴収しない。 ② 中小企業会員は半額とする。	
	8 万円	10 万円		
2. 年会費	登録カタログページ	建産協会員企業	非会員企業	① 年会費は4月～翌年3月までの1年単位とし、年度途中の入会については入会時から残りの期間とする。 ② 登録カタログページ数については毎年3月末に見直しを行い、その時点の登録数で次年度の年会費を左表に従い決定する。 ③ 登録カタログページ数は毎年9月末にも見直しを行い、3月末に比べてページ数が増加した場合にのみ年会費差額の半分を6カ月分として徴収する。 ④ 新規入会時は入会時に登録したカタログページ数で年会費を決定し、その後については②、③の規定に従う。 ⑤ 中小企業会員は半額とする。
	0 ～ 50 ページ	5 万円	6 万円	
	51 ～ 200 ページ	10 万円	12 万円	
	201 ～ 1,000 ページ	15 万円	18 万円	
	1,001 ～ 5,000 ページ	20 万円	24 万円	
5,001 ページ ～	25 万円	30 万円		
3. 制作費	建産協会員企業	非会員企業	① 制作費はカタログの新規登録もしくは差替えのページ数に左表の制作単価を乗じた金額とする。 ② 新規登録(全面改定を含む)時は登録都度の費用請求とする。 ③ ページ差替えによる部分改定時は、半期(4月～9月、10月～翌年3月)毎の実績をもとに10月と4月に費用請求する。	
	300円/ページ	400円/ページ		

さらに中小企業基本法に定められる中小企業にあたる場合は
入会金、年会費は半額！（制作費を除く）

19

具体的なコストメリットは？

実際の費用例（初年度1年間での比較）

◇ 一般企業が計200ページを掲載した場合

一般的な制作会社に頼むと…

区分	金額
サーバー運用費 (10,000円/月)	120,000
制作費 (2,000円/頁)	400,000
合計	520,000

カタラボ では…

区分	金額
入会金	100,000
年会費	120,000
制作費	80,000
合計	300,000

初年度費用
30万円
22万円もお得！

入会金のない
2年目以降は
さらに有利！

◇ 中小企業が計50ページを掲載した場合

一般的な制作会社に頼むと…

区分	金額
サーバー運用費 (5,000円/月)	60,000
制作費 (3,000円/頁)	150,000
合計	210,000

カタラボ では…

区分	金額
入会金	50,000
年会費	30,000
制作費	20,000
合計	100,000

初年度費用
10万円
11万円もお得！

20

利用者が使いやすいしくみを提供するメリットの他に・・・

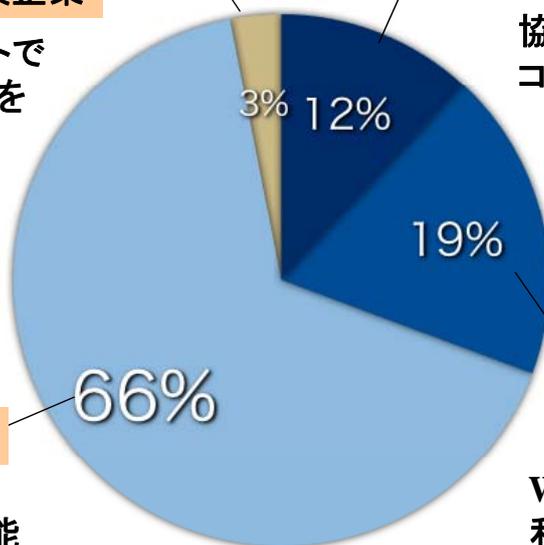
ホームページ未開設企業

最小の手間とコストで
web上に自社製品を



カタログ未掲載企業

少ないコストで公開
運用もおまかせ可能



電子ブック形式掲載企業

協会制作への移行により
コスト削減効果



PDF形式掲載企業

WEBカタログ化により
利用者の利便性向上

参加企業数が増える！ = 情報の網羅性を確保

カタラボには情報が集まる「しかけ」があります。

この情報を利用者はどう評価するでしょうか？

これまでの商品データベースが実現しようとしたもの

各社の仕様が簡単比較できるよう共通フォーマットに

カタログは情報が不十分
技術データが欲しい

今まで苦労したのは自社のカタログや技術資料の他に別資料を作らなければならなかったこと。

各社のカタログを一か所に集めたサイトは利用者に本当に使われるのか？

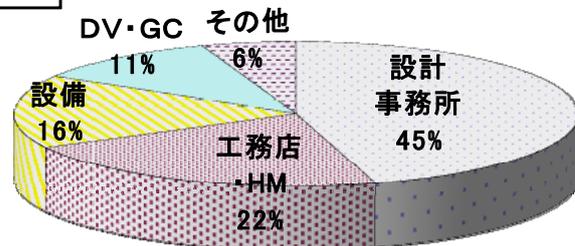
誰が使う？どれ位使う？

メーカーにお聞きした「**利用して欲しい人 No.1**」は設計者などの「**プロ**」。
そのプロの建材・設備機器選定時の製品情報入手の実態は？

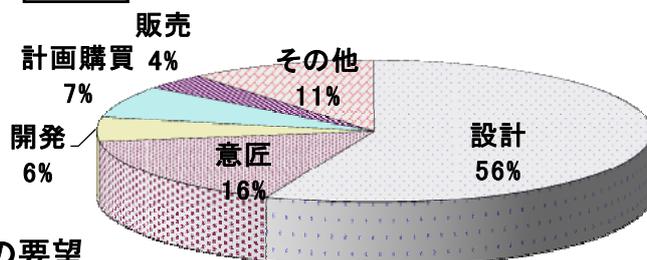
■ 調査概要

1. 調査期間 H20/12～21/2
2. 調査対象
 - ・ 設計事務所・工務店・住宅会社など
 - ・ 意匠・設計・企画 職種中心
3. 調査方法
 - ・ 訪問ヒアリング
 - ・ 団体会合参加者へのアンケート
 - ・ 設備・工務店にeメールアンケート
4. 調査内容
 - ① 現在の製品情報入手方法
 - ② 電子カタログの利用状況と評価
 - ③ 業界横断的な商品情報サイトへの要望

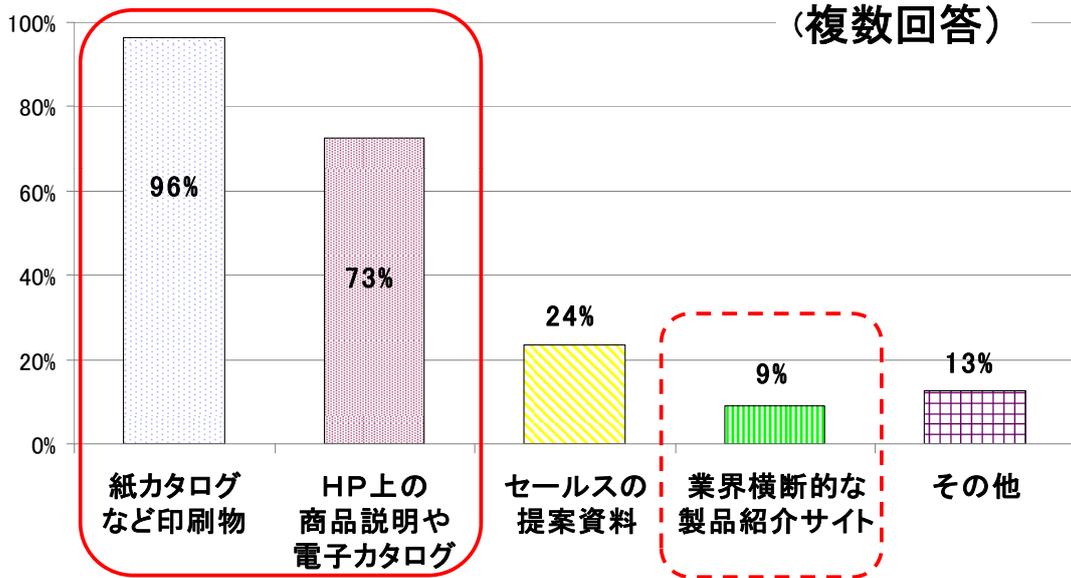
業種



業務

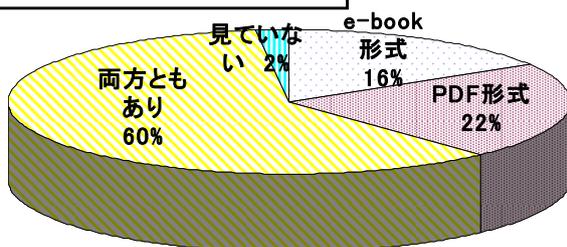


建材・設備機器選定時の製品情報入手方法は？



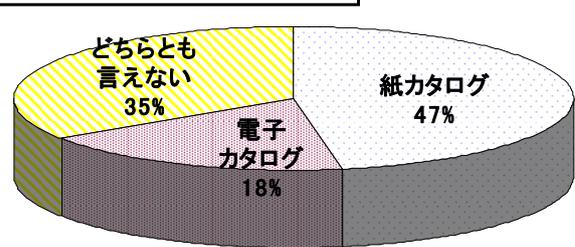
殆どの利用者がカタログからの情報で選定しており、約3/4は電子情報を印刷物(紙カタログ)と併用している。

電子カタログ利用経験



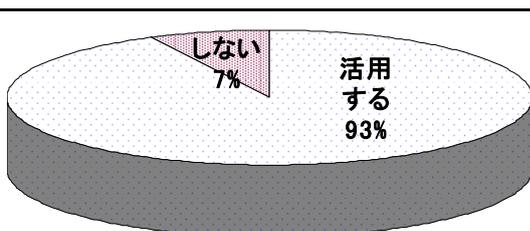
電子カタログの使用は一般化

使い勝手が良いのは



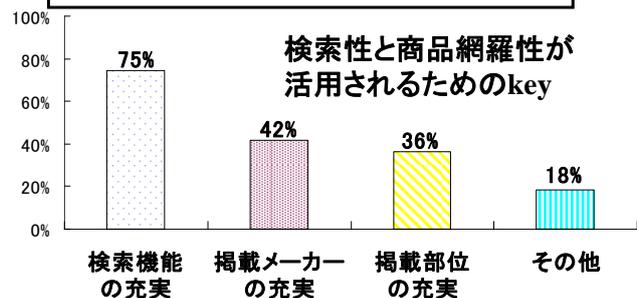
使い勝手にはいろいろな意見が

今後電子カタログを活用すると思うか



殆どの方が電子カタログを活用

業界横断サイトに対する要望は



電子カタログは今後商品情報収集の入口として中心的存在に

設計者の声 その1 A設計事務所 の場合

東京都南青山 所員8名 商業建築中心 建築デザイン関連受賞暦多数



所長

設計に必要な資料として、建築関連書籍、建材や設備のカタログ、材料サンプルを保管していたが、**昨年末にカタログを全て捨てさせた**。ストックしていても殆ど使われなくなった。今の所員は皆ネットで探している。

近年、中国やベトナムの仕事をするようになったが、日本と違い、現地にカタログ類が揃っていることの方が珍しい。皆、カタログ無しで仕事をしている。**むしろ、材料選定はネットの活用が当たり前**。

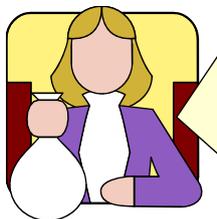


所員

最初の設計時は、建築作品集や建築雑誌などの**事例に使われている材料を参考にネットで探して決めている**。コストダウンのために代替材料を探す必要がある場合に、建材設備カタログやサンプルを取寄せて選定している。**カタログを電子ブック化してホームページに掲載されている場合は、それも活用している**。

設計者の声 その2 B設計事務所 の場合

東京都赤坂 所員数名 商業建築及び住宅 建築デザイン関連受賞暦多数



所長

一度使った建材は二度と同じものは使わないつもりで毎回設計するため常に新しい建材設備を探している。イメージしたものを所員に伝えて探させているが、若い子達はネットを使って見つけてきてくれる。

特に、新しいものを探していくと**小さな輸入商社的なところが取り扱っていることも多い**。大手企業のようにカタログ然としたようなものも無くホームページでの紹介と実物サンプルだけというところもよくある。

うちはまだ事務所然としているしメーカーの訪問もあるが、SOHO的事務所などは、**メーカーの訪問等やカタログをストックするスペースも無い**ため**もっとネットを活用している**。

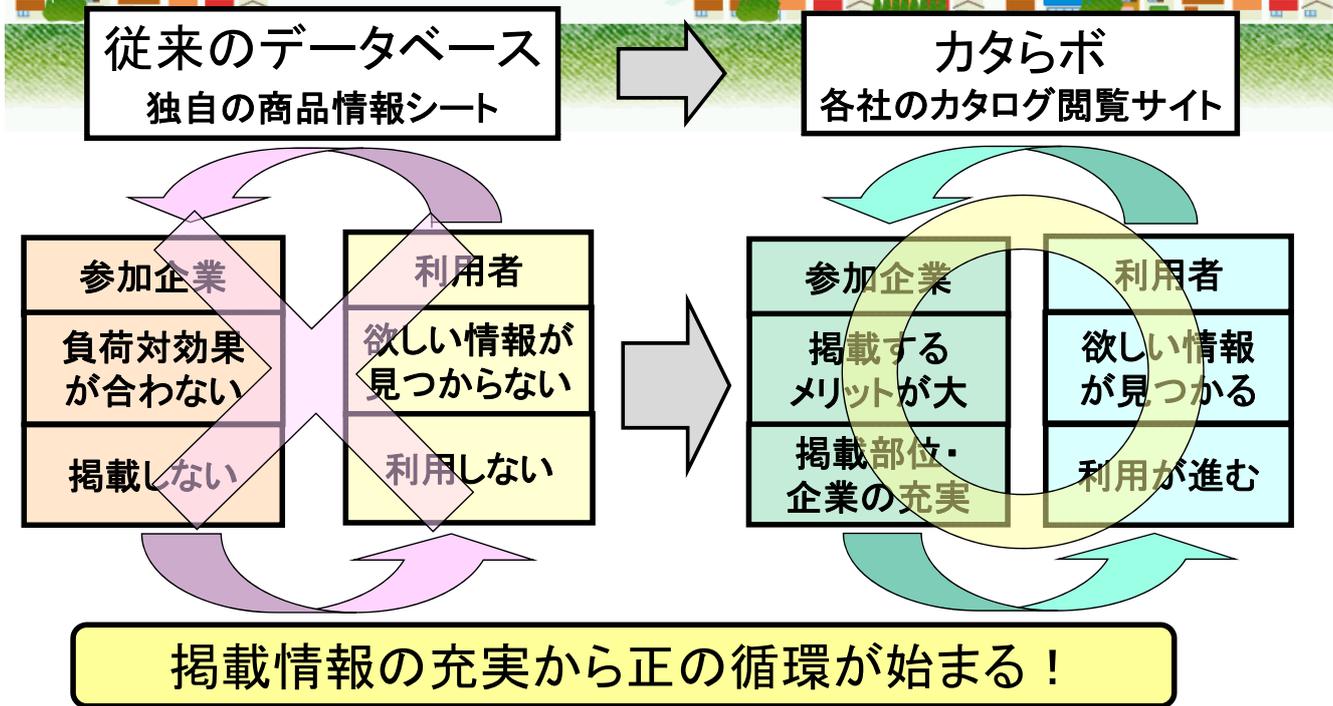


所員

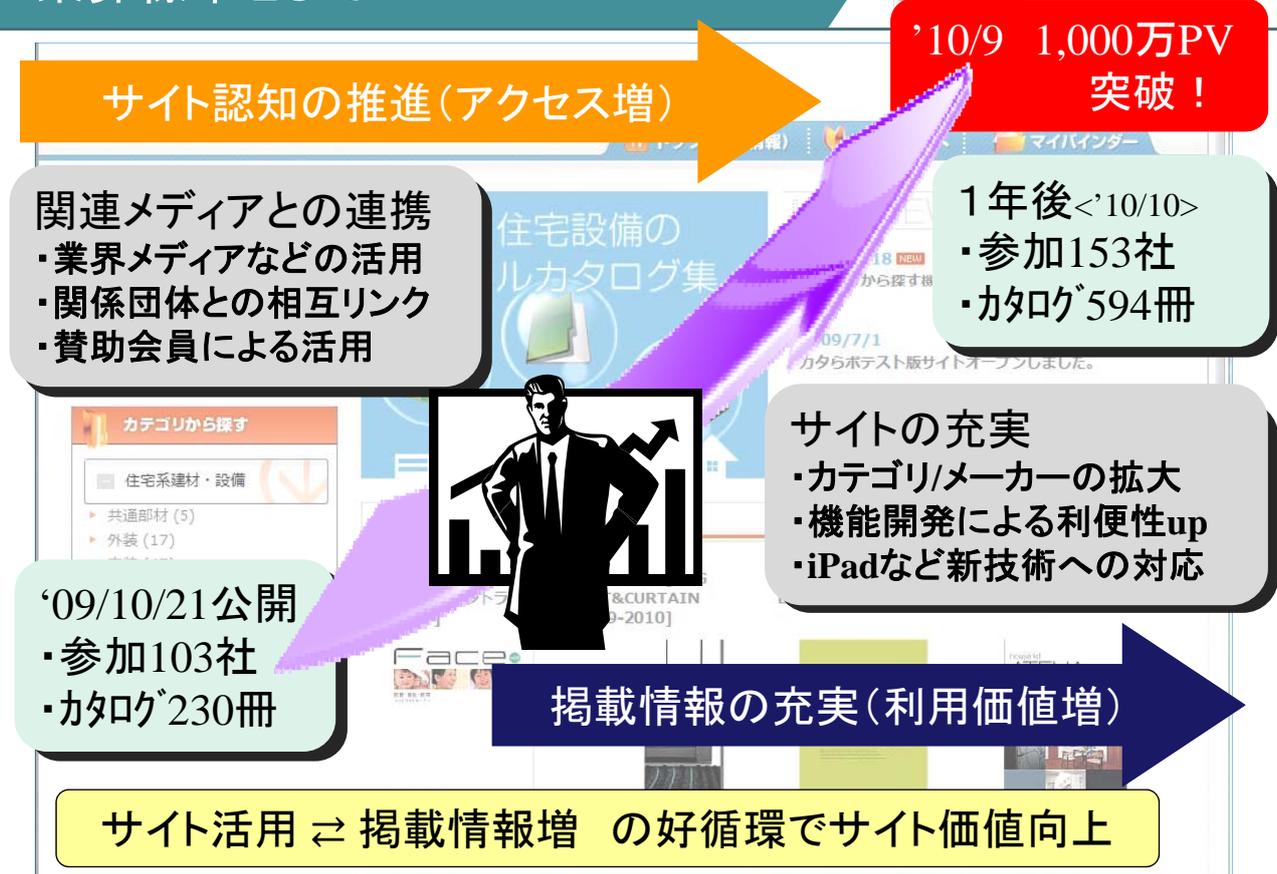
連想するキーワードを使い**Googleなどでネット検索して探している**。紙カタログと違いネットの場合は、提案書を作る際にCADや写真などが利用できるため役立っている。**情報が一同に揃ったサイトができるなら、まず最初にそこを見るようになる**。

誰が使う？どれ位使う？

掲載メーカー・部位・商品が増えれば、プロはもちろん一般のお客様の活用も進む



業界標準として



1年間に



19百万トンもの紙が日本で生産され
カタログ等の商業印刷のために
3.8百万トンの紙が使用されています。

或る建材・住宅設備企業1社を例にとると
商品の梱包材を除き、カタログだけで
6千トンもの紙が使用されてます。



CO2 地球温暖化



一緒にサステナブルな社会を目指した取組みを！

31

カタらボ

建材と住宅設備のデジタルカタログ集



みなさまの積極的なご参加を お待ちしております。

ご連絡先 (社)日本建材・住宅設備産業協会
東京都中央区日本橋浜町2-17-8
KDX浜町ビル5F
担当：枝松・宮北・伊藤
TEL：03-5640-0901
FAX：03-5640-0905
e-mail：catalabo@kensankyo.org

www.catalabo.org

32

今までは部材を探すのもひと苦労...

充実した
検索機能で
一発検索が可能!

いつも机の上はカタログや
書類でいっぱい...
カタログ置き場が
Webなら
スツキリ、スマート!

全文検索
対応で
効率アップ!
全文検索で探す手間を
大幅削減できる!

建材と住宅設備の
デジタルカタログ集

「カタラボ」が
その悩みを
解決します!!

お施主様にも朗報!
重いカタログ集めはもう不要!
もちろん
閲覧は無料!

一冊一冊スキャン
するのは大変...
PDF
ダウンロードで
提案書の
訴求力UP!!

NEW
OPEN

カンタン。見渡す。探し出す。

「カタラボ」なら、様々な建材と住宅設備の最新カタログを、一度にすばやく探すことができます。



閲覧
無料

建材と住宅設備のデジタルカタログ集 **カタラボ**

カタラボ 検索

www.catalabo.org

社団法人 日本建材・住宅設備産業協会

参加企業100社以上! 建材と住宅設備のデジタルカタログの 総合サイト「カタラボ」New OPEN!!

「カタラボ」は、各メーカーのカタログをまるごと一冊Web上で無料閲覧できます。登録などの面倒な手続きは不要。どなたでも自由にご利用いただけます。省資源・省スペースを実現する、環境にやさしいしくみです。

全文検索機能など、便利な機能で効率アップ!!

3つの検索方法が可能!

1. キーワード検索

キーワード入力で全カタログを瞬時に全文検索できます。さらに絞り込めば該当ページを一覧で表示します。

2. メーカー別検索

メーカー検索から各社のホームページにもリンク。

3. カテゴリ別検索

工事区分、部位別で目的の商品が探しやすくなっています。



必要なページを
マイバインダーに
登録すれば専用の
スクラップの完成

トップページは
新着カタログ!

デジタル
カタログ
ページ

TOP
ページ

必要なページ
だけを収集。
「お気に入りページ」
はしおりとして活用

ページ単位の
PDFダウンロードや
印刷もカンタン!



ページめくりも
拡大/縮小も
ワンクリック!

主な参加企業

- アイカ工業株式会社 ●アイジー工業株式会社 ●株式会社AIHO ●秋田ウッド株式会社 ●アキレス株式会社 ●株式会社アサノ ●朝日ウッドテック株式会社 ●旭化成建材株式会社 ●旭硝子株式会社 ●旭ファイバーグラス株式会社 ●旭有機材工業株式会社 ●株式会社アルク環境エンジニアリング ●株式会社イーテック ●株式会社INAX ●株式会社イノアック住環境 ●株式会社ウッドワン ●ウベボード株式会社 ●永大産業株式会社 ●株式会社エーアンドエーマテリアル ●株式会社エヌエスティ ●大関化学工業株式会社 ●岡部株式会社 ●株式会社岡村製作所 ●株式会社カナイ ●株式会社カワサキマシンシステム ●株式会社キクテック ●近畿セラミックス株式会社 ●クボタ松下電工外装株式会社 ●クリオン株式会社 ●KVK株式会社 ●コニシ株式会社 ●株式会社三栄水栓製作所 ●三協立山アルミ株式会社 ●サンサニー工業株式会社 ●サンスター技研株式会社 ●三洋工業株式会社 ●JFEロックファイバー株式会社 ●シッパス・ジャパン株式会社 ●新東株式会社 ●新日軽株式会社 ●住友スリーエム株式会社 ●住江織物株式会社 ●セキスイエクステリア株式会社 ●セメダイン株式会社 ●セントラル硝子株式会社 ●株式会社園田製作所 ●大建工業株式会社 ●大日化成株式会社 ●大日技研工業株式会社 ●大日本塗料株式会社 ●太平洋セメント株式会社 ●太平洋プレコン工業株式会社 ●太平洋マテリアル株式会社 ●タウ化工株式会社 ●株式会社武井工業所 ●チヨダウテ株式会社 ●株式会社鶴弥 ●テクノスジャパン株式会社 ●寺岡オートドア株式会社 ●東亜コルク株式会社 ●東邦シートフレイム株式会社 ●東洋プライウッド株式会社 ●TOTO株式会社 ●トステム株式会社 ●株式会社トッパン・コスモ ●ドリコ株式会社 ●名古屋モザイク工業株式会社 ●ナブテスコ株式会社 ●南海プライウッド株式会社 ●ニチアス株式会社 ●ニチハ株式会社 ●日昌ガラス株式会社 ●株式会社日東製陶所 ●日東紡績株式会社 ●日本板硝子株式会社 ●日本インシュレーション株式会社 ●日本住宅パネル工業協同組合 ●日本ドアーチエック製造株式会社 ●日本ヒューム株式会社 ●日本ペイント株式会社 ●日本木槽木管株式会社 ●日本ロックウール株式会社 ●株式会社ノザワ ●株式会社ノダ ●野安製瓦株式会社 ●パナソニック電工株式会社 ●バラマウント硝子工業株式会社 ●株式会社パロマ ●フクビ化学工業株式会社 ●不二サッシ株式会社 ●株式会社フッコー ●文化シャッター株式会社 ●北星ゴム工業株式会社 ●株式会社マダ ●マックス株式会社 ●株式会社ミサワテクノ ●三菱日立ホームエレベーター株式会社 ●三菱マテリアル建材株式会社 ●美和ロック株式会社 ●株式会社ヤマセ ●横浜ゴム株式会社 ●株式会社横森製作所 ●吉野石膏株式会社 ●ルーバーテック株式会社 ●YKK AP株式会社 ●株式会社和光製作所

ますます充実! たいま増加中!

お問い合わせはこちらへ

社団法人 日本建材・住宅設備産業協会

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-17-8 KDX浜町ビル
Tel: 03-5640-0901 Fax: 03-5640-0905

www.catalabo.org

建材と住宅設備のカタログ集活サイト

「カタラボ」が、
貴社のカタログを

24時間 高効率な
営業ツールにかえます。



これが、建材と住宅設備の
カタログ集活サイト「カタラボ」!

建材と住宅設備のカタログのための

1 集中活用サイト

「カタラボ」は、建材と住宅設備のカタログを電子ブック形式でお届けするポータルサイトです。日本中の、工務店様・デザイナー様・施主様に自由に閲覧・活用いただけます。

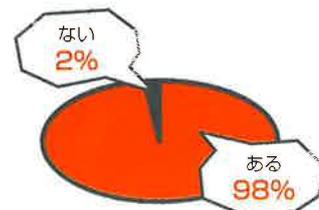


自社カタログの広告効果を高める、

2 集客活動サイト

電子カタログは、これからの商品情報収集に欠かせない営業ツールです。各社との並列掲載により自社ホームページとは比べものにならないアクセス数・広告効果が期待できます。

電子カタログを
利用したことがありますか?



※設計事務所様・工務店様・住宅会社様
などで意匠・設計・企画のご担当者の方を
中心に行ったアンケート調査。98%の
方が「電子カタログを利用したことが
ある」と回答されました。(当協会調べ)

営業経費、郵送費などのコスト削減に役立つ、

3 集約活性サイト

いま電子カタログはコスト効率のよい営業ツールとして期待されています。これまでの必要経費を集約することにより大幅なコスト削減に役立ちます。

www.catalabo.org

今すぐアクセス!まずはご自分の目でご確認ください!

「カタラボ」は建産協がお届けする、 建材と住宅設備のカタログ集活サイトです!

「カタラボ」の4つのメリット!

1 カタログ内容を
まるごと登録できる!
トップページは
新着カタログでいっぱい!



3 キーワード検索で
目的ページを一発検索!

2 部位別/工事区分別の
検索で各社の
カタログが一覧可能!

4 メーカーHPへの
リンクで簡単資料請求!

「カタラボ」なら、日本中の工務店様・デザイナー様、施主様が自由に閲覧・活用できる!

ユーザー様の声

カタログをメーカーから取り寄せる
時間がもったいない。そんなときこそ
ネットの便利さを実感します!

ユーザー様の声

大量のカタログを置くスペースの
ないSOHOにとっては、ネットでの
建材収集は日常です。



いまや誰もがネットで資料探しを
している。材料選定はネットを
活用するのが当たり前です。

ユーザー様の声

お問い合わせはこちらへ。

www.catalabo.org

社団法人 日本建材・住宅設備産業協会

TEL:03-5640-0901 FAX:03-5640-0905

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-17-8 (KDX浜町ビル)

2009.07 発行

メーカー入会申込書

カタラボメーカー入会のお申し込みの際しましては、別紙「カタラボ会費について(平成22年度版)」をお読みになり、下記(※印は必須)に必要な事項をご記入の上、FAXにてお申し込み下さい。

下記のとおり入会を申し込みます。

申込日※	年 月 日	入会月	年 月	から 入会
フリガナ				
会社名※				
ご住所※	〒			
フリガナ				
ご担当者名※				
所属				
役職				
電話番号 ※			FAX番号	
E-mail ※			HP※	http://

■以下、該当する項目番号を○で囲んでください。

中小企業基本法の中小企業に	1 : 該当する	2 : 該当しない
現在、自社のホームページに電子ブック形式のカタログを	1 : 公開している	2 : 公開していない

※ご入会にあたりまして、下記アンケートにご回答ください。

■今回、カタラボにご入会されたきっかけは何でしょうか。

- 1 : 雑誌・新聞等を見て 媒体名 ()
 2 : 取引先・知人等の紹介 紹介者 ()
 3 : その他 ()

■今後掲載を予定されるカタログの数と凡そのページ数(合計)をお聞かせ下さい。

冊 ページ

データ登録作業推進の都合上お聞きしています。
 年会費・制作費は、カタログ登録完了後、実績をもとに別途ご請求させていただきます。

●お問合わせ先

社団法人 日本建材・住宅設備産業協会
 〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町 2-17-8
 KDX浜町ビル5F
 E-mail : catalabo@kensankyo.org
 TEL : 03(5640)0901 URL : http://www.kensankyo.org

●お申し込み先：カタラボ事務局

※下記までFAX願います。

FAX : 03-5640-0905

カタラボ会費について

1: 会員・会費

カタラボ会員への入会は企業単位とします。

会員企業はカタラボ運営のための会費として、入会金、年会費及び制作費を負担お願いします。

入会金は初期登録の経費として第2項に定められた金額をご請求いたします。

年会費はデータセンター運営維持のための費用として、センターに登録しているカタログページ数に応じて第3項に定める金額をご請求いたします。

制作費はデータセンターにカタログを新規登録もしくは部分改定する費用として、登録もしくは差替えしたページ数に応じて第4項に定める金額をご請求いたします。

中小企業基本法に規定する中小企業につきましては優遇措置を設けます。()

一度お支払いいただいた入会金、年会費、制作費は返却いたしません。

表示金額には消費税が含まれておりません。ご請求時に別途申し受けます。

2: 入会金

建産協会員企業	非会員企業
¥80,000	¥100,000

中小企業会員は半額とします。()

3: 年会費

【登録翌年以降の年会費】

登録カタログページ	建産協会員企業	非会員企業
0 ~ 50	¥50,000	¥60,000
51 ~ 200	¥100,000	¥120,000
201 ~ 1,000	¥150,000	¥180,000
1,001 ~ 5,000	¥200,000	¥240,000
5,001 ~	¥250,000	¥300,000

年会費は4月～翌年3月までの1年単位とし、年度途中の入会についても同額とします。

登録カタログページ数については毎年3月末に見直しを行い、その時点の登録数で次年度の年会費を左表に従い決定します。請求書は毎年4月に発行させていただきます。

登録カタログページ数は毎年9月末にも見直しを行い、3月末に比べてページ数が増加した場合にのみ年会費差額の半分を6ヶ月分として10月にご請求させていただきます。

新規入会時は入会時に登録したカタログページ数で年会費を決定し、入会金と合わせて、入会時にご請求致します。その後については、の規定の通りです。

中小企業会員は半額とします。()

4: 制作費

建産協会員企業	非会員企業
¥300/ページ	¥400/ページ

制作費はカタログの新規登録もしくは差替えのページ数に左表の制作単価を乗じた金額となります。

制作費は月末締め翌月請求とさせていただきます。

5: お支払い例

区分	ケース 一般会員で200ページを登録	
	建産協会員	非会員
入会金	¥80,000	¥100,000
年会費	¥100,000	¥120,000
制作費	¥60,000	¥80,000
合計	¥240,000	¥300,000

区分	ケース 中小企業会員で50ページを登録	
	建産協会員	非会員
入会金	¥40,000	¥50,000
年会費	¥25,000	¥30,000
制作費	¥15,000	¥20,000
合計	¥80,000	¥100,000

中小企業会員は半額()

建産協ニュース

社団法人 日本建材・住宅設備産業協会

『カタラボ』、iPad の閲覧を開始

～10 月度月間アクセス数 1,070 万ページビュー、
好評のデジタルカタログサイトを iPad でも閲覧可能に～

社団法人日本建材・住宅設備産業協会は、建材と住宅設備のデジタルカタログ集サイト『カタラボ』(<http://www.catalabo.org>)をアップル社のタブレット端末 iPad でも閲覧できるサービスを、11月11日から開始しました。

また、公開からちょうど1年が経過しました『カタラボ』は、10 月月間アクセス数が、1,070 万ページビューとなり、前月に引き続き 1,000 万ページビューを超え、順調に活用が進んでいます。さらに、建材・住宅設備製品をお取り扱いの商社・代理店・販売会社等流通に携わる企業にむけた「賛助会員」制度（本年9月開始）では、参加企業が11社となり、総参加企業数は153社となりました。

iPadでの『カタラボ』閲覧開始を機に、今後も『カタラボ』の情報量の充実、活用範囲の拡大等を図り、ユーザー・参加企業ともに価値ある情報提供サービスを目指します。

【iPadでの『カタラボ』閲覧について】

- ・昨今、スマートフォンやタブレット端末などの高機能端末の普及が急速に拡大しており、ビジネススタイルの変化やデバイスの多様化が進んでいます。カタログも紙だけでなく様々なデバイスで閲覧できることが求められています。
- ・『カタラボ』は、建材・住宅設備業界のなかでは、これまでにない情報量と機能を兼ね備えたサイトとして月間アクセス数1,000万ページビューを超え、ご好評いただいておりますが、よりご利用の幅を広げるサービスとして、新たにタブレット端末 iPadでの閲覧を開始しました。
- ・iPadで『カタラボ』が閲覧可能になることにより、ユーザーにとっては、カタログを持ち歩くことなく紙カタログと同じ感覚で、無料で手軽にご利用いただくことができます。参加企業にとっては、従来通り『カタラボ』にカタログを登録することでiPadでの配信が可能になります。新たな作業負荷や費用は発生しません。
- ・なお、カタラボの閲覧は、App StoreからiCataをダウンロードすることで可能になります。
※iCataは、凸版印刷株式会社が提供するデジタルカタログサービスの閲覧アプリです。
(無償提供)



【カタラボについて】

- 『カタラボ』は、建材と住宅設備を扱う各企業のカatalogを電子ブック形式で一堂に集め、企業ごとの検索をはじめ、建築用途・工事区分・部位などの区分ごとの検索やフリーワードでの検索など便利な機能を装備し、豊富な製品情報のなかから、ワンストップで欲しい情報を探し出すことができるポータルサイトです。だれでも簡単・自由に閲覧でき、従来の紙カatalogにない情報入手の速さ、探しやすさなど利便性が評価されています。

◆10月度の月間アクセス数は 1,070 万ページビュー！

10月月間アクセス数が、1,070 万ページビューとなり、引き続き 1,000 万ページビューを超えました。公開から約 1 年が経過しましたが、引き続き活用が進んでおり、ご好評いただいています。

また、参加企業数は 150 社を超え、閲覧できる情報量が充実していくとともにアクセス数が増えています。

<過去 6 ヶ月のコンテンツ掲載数・アクセス状況一覧>

	参加企業数	掲載カatalog数	掲載ページ数	総ページビュー
5月	116	505	48,336	8,985,331
6月	118	497	46,650	9,032,740
7月	124	528	47,513	9,452,015
8月	138	545	49,642	9,808,750
9月	146	566	50,093	10,957,887
10月	153	594	51,434	10,698,177



内訳：正会員 142 社、賛助会員 11 社

(参加企業数は 11 月 11 日時点)

◆「賛助会員」制度により、メーカー商材をお取り扱いの流通関係企業にもご活用いただいています。

建材・住宅設備メーカー各社の商材をお取り扱いの商社・代理店・販売会社等流通に携わる企業を「賛助会員」としてご参加いただき、『カタラボ』をご活用いただくことができます。今後も『カタラボ』の活用範囲の拡大を進めていきます。

<賛助会員のメリット>

- 『カタラボ』掲載商品の販売窓口として、『カタラボ』トップページに設けた「賛助会員コーナー」に商社・代理店・販売会社等流通に携わる企業の社名を掲載します。また、自社ホームページへのリンクを設定します。
- 商社・代理店・販売会社等流通に携わる企業の自社ホームページに、自社取扱商品のカatalogとして『カタラボ』の電子カatalogを掲載することができます。

- ・現在、下記 11 社が「賛助会員」としてご参加いただいています。

- | | |
|--------------------|------------------|
| ●後藤木材株式会社 | ●ナイス株式会社 |
| ●株式会社サンクスコーポレーション | ●日本板硝子ウインタック株式会社 |
| ●ジャパン建材株式会社 | ●日本板硝子関東販売株式会社 |
| ●ジュータックホールディング株式会社 | ●橋本総業株式会社 |
| ●住友林業株式会社 | ●渡辺パイプ株式会社 |
| ●TOTO エムテック株式会社 | |

(11 月 11 日時点)

※iPad は米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。

※本ニュースリリースに掲載されている会社名および商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

以上に関するお問い合わせは下記までお願いします。

(社)日本建材・住宅設備産業協会

担当：松本

TEL：03 (5640) 0901 FAX：03 (5640) 0905

e-mail：catalabo@kensankyo.org 建産協ホームページ：<http://www.kensankyo.org/>

「カタラボ」参加企業等一覧

総会員数 153 社

※社名ア行エ順

※11月11日時点

■正会員 (142 社)

アイカ工業株式会社
アイジー工業株式会社
秋田ウッド株式会社
アキレス株式会社
朝日ウッドテック株式会社
旭化成建材株式会社
旭硝子株式会社
旭トステム外装株式会社
旭ファイバーグラス株式会社
旭有機材工業株式会社
株式会社アルク環境エンジニアリング
株式会社イーテック
株式会社 I N A X
株式会社イノアック住環境
株式会社ウッドワン
ウベボード株式会社
永大産業株式会社
株式会社エーアンドエーマテリアル
エーディーワールド販売株式会社
NEC Avio 赤外線テクノロジー株式会社
株式会社エヌエスディ
株式会社小笠原
岡部株式会社
株式会社岡村製作所
オート化学工業株式会社
株式会社カクダイ
株式会社カナイ
株式会社カネシン
株式会社カワサキマシンシステムズ
株式会社キクテック
株式会社木の繊維
株式会社キョーライト
共和成産株式会社
近畿セラミックス株式会社
クリオン株式会社
グローエジャパン株式会社
ケイミュー株式会社
K V K 株式会社
神島化学工業株式会社
コニシ株式会社
株式会社三栄水栓製作所
三協立山アルミ株式会社
三共商事株式会社
株式会社サンクビット
サンスター技研株式会社
有限会社サンタムス
三洋工業株式会社
株式会社 J S P
J F E ロックファイバー株式会社
シップス・ジャパン株式会社
昭和電工建材株式会社
新東株式会社

新日軽株式会社
スピリチュアルモード
住友スリーエム株式会社
住友林業クレスト株式会社
住江織物株式会社
セイキ販売株式会社
セキスイエクステリア株式会社
積水化学工業株式会社
セキスイボード株式会社
セメダイン株式会社
セントラル硝子株式会社
創嘉瓦工業株式会社
株式会社園田製作所
大建工業株式会社
大信工業株式会社
大日化成株式会社
大日技研工業株式会社
大日本塗料株式会社
太平洋セメント株式会社
太平洋マテリアル株式会社
ダウ化工株式会社
タカラスタンダード株式会社
株式会社タジマ
田島ルーフィング株式会社
株式会社タハラ
ダントー株式会社
株式会社チューオー
チヨダウテ株式会社
株式会社鶴弥
テクノエフアンドシー株式会社
テクノスジャパン株式会社
寺岡オートドア株式会社
電気硝子建材株式会社
東亜コルク株式会社
東邦シートフレーム株式会社
東洋エクステリア株式会社
東洋テックス株式会社
東レ ACE 株式会社
東レ・ダウコーニング株式会社
T O T O 株式会社
トステム株式会社
株式会社トーザイクリエイト
株式会社トッパン・コスモ
名古屋モザイク工業株式会社
ナブテスコ株式会社
南海プライウッド株式会社
ニチアス株式会社
ニチエー吉田株式会社
ニチハ株式会社
日昌ガラス株式会社
ニッタイ工業株式会社
日新工業株式会社

日東紡績株式会社
日本板硝子株式会社
日本板硝子環境アメニティ株式会社
日本インシュレーション株式会社
日本住宅パネル工業協同組合
日本ドアーチェック製造株式会社
日本ヒューム株式会社
日本ペイント株式会社
日本木槽木管株式会社
日本ロックウール株式会社
株式会社ノザワ
株式会社ノダ
野原産業株式会社
野安製瓦株式会社
パナソニック電工株式会社
パラマウント硝子工業株式会社
株式会社パロマ
ハンスグローエジャパン株式会社
フクビ化学工業株式会社
不二サッシ株式会社
フジワラ化学株式会社
株式会社フッコー
古藤工業株式会社
文化シャッター株式会社
株式会社北州
ボード株式会社
マグ・イゾバール株式会社
マックス株式会社
三菱日立ホームエレベーター株式会社
三菱マテリアル建材株式会社
美和ロック株式会社
株式会社ヤマセ
ヤマハリビングテック株式会社
横浜ゴム株式会社
株式会社横森製作所
吉野石膏株式会社
ルーバーテック株式会社
Y K K A P 株式会社

■賛助会員 (11 社)

後藤木材株式会社
株式会社サンクスコーポレーション
ジャパン建材株式会社
ジューテックホールディングス株式会社
住友林業株式会社
T O T O エムテック株式会社
ナイス株式会社
日本板硝子ウインテック株式会社
日本板硝子関東販売株式会社
橋本総業株式会社
渡辺パイプ株式会社

www.catalabo.org

社団法人 日本建材・住宅設備産業協会